

議会報告会報告書

令和6年1月15日

小田原市議会議長
大川 裕 様

報告者 議会広報広聴常任委員長
角田 真美

議会報告会（議場見学会）の結果について、次のとおり報告いたします。

日 時	令和5年11月13日（月曜日）午前9時20分 ～ 午前11時00分			
場 所	小田原市役所 議場			
出席者	角田 真美	池田 彩乃	城戸 佐和子	栗畑 寿一朗
	鈴木 和宏	中野 正幸	稲永 朝美	大川 晋作
参加人数	42名（久野小学校6年生児童38名、担任教諭等4名）			
内容	<p>小田原市議会基本条例では、市民の意見を議会の審議や政策立案に生かすため、議会報告会や市民アンケートのほか、多様な媒体を活用し、広報広聴の充実を図るものと定められています。</p> <p>そのような中、これまで要望に応じて対応を行ってきた議場見学会は、議会報告会と同様に議会活動の報告という広報の面と、意見交換による広聴の面があることから、令和3年度からは議会報告会の一つの形として以下のとおり実施しました。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none">・市議会議員から児童に対し、市議会や議場に関する説明・議長室や傍聴席といった、議場以外の施設の見学・議員に対する質疑応答			
主な質疑・意見等	裏面参照			
その他				

<主な質疑等について>

【質疑】 市議会はどのくらいの頻度で開かれますか
【回答】 4月から翌年3月までの一年間に主なものとして、5月臨時会が1日あり、一か月くらい続く定例会が6月、9月、12月、3月にあります
【質疑】 最近の議会で話題になっていることは何ですか
【回答】 最近の9月定例会では、「若者」に関する議題が話題になりました。小田原に今いる若者が、将来小田原に住んで活躍してもらうためにはどうしていったらよいかという内容です
【質疑】 大地震などへの災害対策を教えてください
【回答】 関東大震災から100年の節目ということもあり、ハルネ小田原での展示や講演会が行われ減災への意識対策や自治会を通しての避難訓練も行われています。また、地震だけでなく風水害の対策をして川の水位を監視するデジタルの活用もされています
【質疑】 少子化についてどのような対策をしていますか
【回答】 このまちで出産して子育てをしてみたいと思ってもらえるような様々な取組を行っています。大きくは国の政策に基づくものですが、独自の政策として小児医療もその一つです
【質疑】 会議時間は毎回同じですか
【回答】 時間はそれぞれです。それは議案の全てが話し合われたら終了となるためです
【質疑】 小田原市が環境問題で取り組んでいることは何ですか
【回答】 県西地域2市8町プラごみゼロ共同宣言、CO2削減のKPI設定など、それぞれ目標を立てています。環境問題は様々な意見があるため、それらの意見も話し合っ決めていきます
【質疑】 小田原の課題は何ですか
【回答】 全国的にですが、少子高齢化また投票率の低下です。特に若者が政治に目を向けないことが、自分達の問題として戻ってきてしまいます。ぜひ選挙へ行ってください
【質疑】 人口減少についてどのような対策をしていますか
【回答】 みなさんに既に配られている冊子などに小田原の魅力を発信することで人口増を目指しています
【質疑】 小田原市でSDGsの取組は何をしていますか
【回答】 全ての項目に対して対応しているところですが、中にはうまくいっているものとそうではない部分もあり、住み良いまちづくりを目指すことがもっとも大事だと思っています
【質疑】 小田原の教育についてどのような特別な対策をしていますか
【回答】 小田原市の個別支援員さんの人数は県内トップです。35人学級も県内でトップです
【質疑】 市議会議員の議席数はいくつですか
【回答】 27議席です。議場内の議員席の反対側の席は市長、教育長はじめ執行部の方々の席です
【質疑】 議員で大変なことは何ですか
【回答】 判断することです。判断するために調査や勉強をしたり、人と会って情報をたくさん得ます
【質疑】 小田原市のごみ削減対策はどのようなことをしていますか
【回答】 ごみと資源を考える情報紙「ゴミダス」を年に1回発行しています。また身近にある段ボール箱を利用した生ごみ堆肥化方法の段ボールコンポストの取組やごみの分別の推進などです
【質疑】 医療保険助成は何歳までですか
【回答】 小田原市では現在小児医療費の助成は中学生までですが、来年10月には18歳まで拡大されます
【質疑】 小田原にどのようなまちになってほしいですか
【回答】 今小田原に住んでいる人が小田原っていいよねって思えるような、年齢、性別、国籍、障害のあるなしに関わらず、誰もが大切にされるまちにしたいです

【質疑】 小田原市が今一番取り組んでいることは何ですか

【回答】 取組は多数ありますが、その中でも行政業務をデジタル化して、業務の効率化を図り、そのうえでデジタル、ゼロカーボンにも取り組み、2030年までに環境対応にもできるように取り組んでいます

【質疑】 小田原市の活動で大切なことは何ですか

【回答】 デジタルを使い、市民一人ひとりが幸せになるように、どうデジタル化するか、考えています。みなさんが学校で使っているタブレットもデジタル化の一環です